科目名	社会調査の仕方	科目分類	■専門科目群　□総合科目群	
			経済学部	□必修　■選択
			総合政策部	□必修　■選択
英文表記	Social Research	開講年次	■１年 ■２年 ■３年 ■４年	
ナンバリング	①G−15 選	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
ふりがな	いしざわまき　・　くさかかずひと	実務家教員担当科目		修得単位　２単位
担当者名	石沢真貴　・　日下和人	実施方法	■対面のみ　□遠隔のみ □対面・遠隔併用	

授業のテーマ	正しい社会調査の方法と調査倫理を学ぶ
到達目標	１．様々な社会調査の特性と方法を理解することができる。 ２．社会調査を計画・実行する力を身につけ、数量データの集計・分析まで遂行できる。 ３．調査倫理やプライバシーへの配慮について理解することができる。
授業概要	一般に知られるアンケート調査屋やインタビュー調査だけではなく、観察調査やドキュメント分析など社会調査の様々な方法やそれらの長所・短所について基礎から学びます。また個人情報の扱いや様さ倫理についても学びます。

授業計画	
第１回	社会調査とは何か
第２回	社会調査の心得と注意点
第３回	社会調査の方法①　定量的調査
第４回	サンプリングと集計方法
第５回	調査票調査の企画設計と注意点
第６回	社会調査の方法②　定性的調査
第７回	フィールドワークの特徴
第８回	聞き取り調査
第９回	ドキュメント分析
第 10 回	地域研究と社会調査の系譜
第 11 回	統計データの活用法
第 12 回	データの集計方法
第 13 回	データの分布・代表値
第 14 回	相関と因果
第 15 回	データの集計・解析
第 16 回	定期試験

授業時間外の学習	＜予習＞ 授業終了時に次回のキーワードを紹介しますので、参考文献やＷＥＢサイトなどを活用し予習をしてください。(90 分程度) ＜復習＞ ノートを確認し、参考文献や WEB サイトなどを活用し復習をしてください。(90 分程度) ＜その他＞ 日常生活の中でアンケート調査や統計資料に関心を持ってください。(30 分程度)
履修条件 受講のルール	・基本から学びますので履修条件は特に設けません。 ・全回出席を原則とします。 ・毎時間参考資料はポータルサイトで配布しますので、各自ダウンロードのうえ持参してください。
テキスト	授業時に適宜資料を配布します（特定のテキストは配布しません)。
参考文献・資料	大谷信介ほか『新・社会調査へのアプローチ―理論と方法―』ミネルヴァ書房（2013 年） 前田拓也ほか『最強の社会調査入門』ナカニシヤ出版（2016 年） 佐藤郁哉『フィールドワーク　増訂版』新曜社（2006 年）

成績評価の方法	①定期試験（50%）…知識を問う問題と論述問題を課します。 ②レポート課題（15%）…パソコンで作成し提出してもらいます。正当な理由なく提出期限を守らなかった場合は加点しません。 ③小レポート（15%）…出席カードの裏面に書いてもらいます。なお、課題に対して満足に解答する姿勢がみられない場合は、加点しない場合があります。 ④取り組み姿勢（15%）…遅刻、マナー違反（私語・携帯操作・途中無断退席など）は加点しないほか、悪質な場合は欠席扱いとします。 ＊出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。
オフィスアワー	石沢真貴：毎週水曜日 2 時限目終了後（第 1～10 回） 日下和人：毎週月曜日 11:30～13:00
成績評価基準	秀（100～90 点）、優（89～80 点）、良（79～70 点）、可（69～60 点）、不可（59 点以下）
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	授業中にグループワークをしたり、次回までの課題を出したりすることがあります。 原則として全回出席し、他の履修者に迷惑がかからないように注意してください。